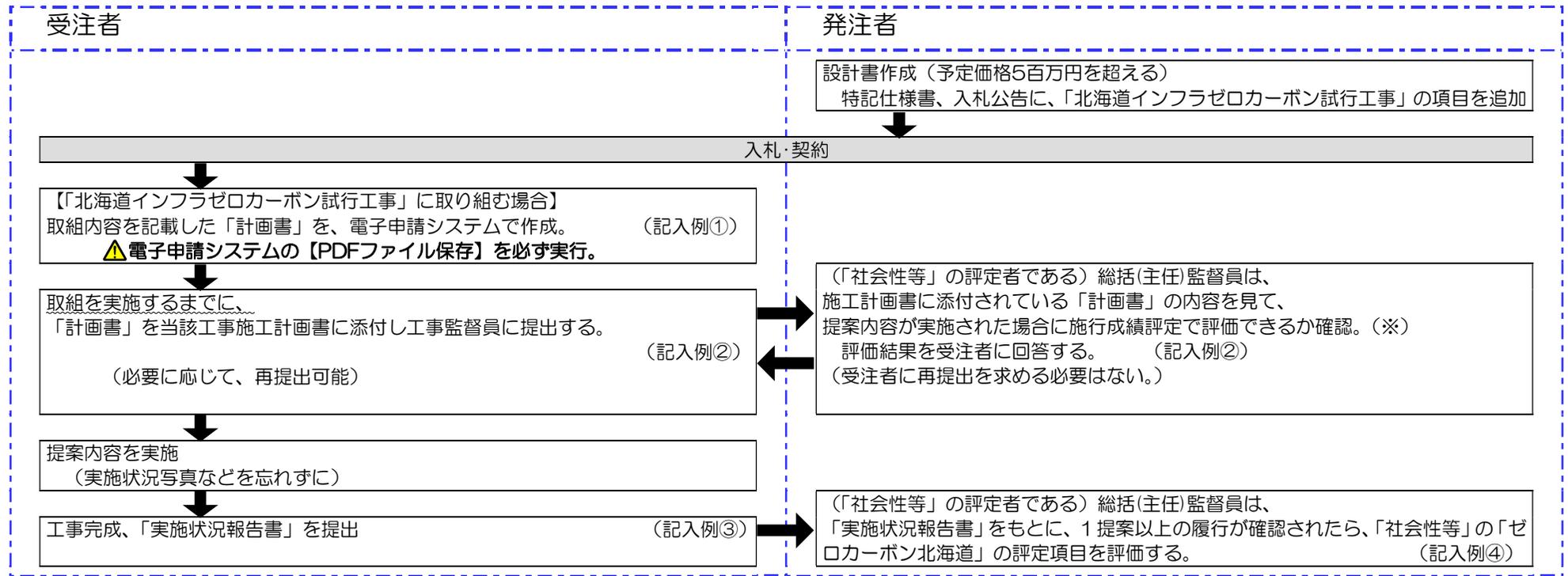


(参考資料) 北海道インフラゼロカーボン試行工事 全体の流れ



(※) 評価対象 (R4 / 4時点) (次の全ての条件を満たす提案について、工事施行成績評定で加点対象とする。)

評価対象	(注意事項)
① 工事現場内で行う取組 (工場製作のみの工事の場合は、工場での取組も対象とする)	本支社等の取組は対象外
② 次のいずれかの取組 ・ 工事現場や工事施工に伴う二酸化炭素排出量の削減に寄与する取組 ・ 二酸化炭素の吸収に寄与する工事現場内の取組 ・ 二酸化炭素発生を低減して製造した資材等の使用	工事現場で発生する二酸化炭素を、他者の削減で打ち消す場合は対象外
③ 発注者が費用を計上していない取組	
④ 他の取組などで、工事施行成績評定 (創意工夫、社会性等) で重複して加点評価しない取組	
⑤ 工事現場としての実施が確認できる取組	従業員への心がけに頼る取組は、確認できないので対象外
⑥ 工事現場の安全や目的物の性能や耐久性等に影響しない取組	

記入例①

北海道インフラゼロカーボン試行工事 計画書

建設管理部 _____ 受注者名 _____
 工事番号 _____
 工事名 _____

<計画>
 取組内容及び期待される効果（最大3件まで（※））
 （1件目）

燃費基準達成型のバックホウを使用し、従来型に比べて燃料消費量を削減する。
 それに伴って、現場から排出されるCO2を削減する。

（2件目）

カーボンオフセットにより、当工事現場で発生するCO2を、他の場所で削減したCO2で埋め合わせする。
 それに伴って、地球全体のCO2を削減する。

（ ～ この記入例は、評価できない事例です ～ ）

（3件目）

従来は発電機を使用していた部分にソーラーパネルを設置し、発電によって得られた電力を活用することで、軽油の使用量を削減する。
 それに伴って、現場から排出されるCO2を削減する。

（※） 工事施行成績評定での評価は、提案のうち1件以上実施した場合に評価します。
 （1件のみ実施の場合と3件実施の場合では、同じ評価点数です。）

・受注者は、この計画書を施工計画書に添付し、工事監督員に提出してください。

記入例②

（例では、北海道様式ですが、開発局様式でも可能です）

工事施工協議簿

工事名	工事監督員	総括監督員	主任監督員	監督員
	署名			
受注者名	役職名		現場代理人	主任技術者等
協議年月日	署名			
記載者	内容			
協議事項 (工事監督員)	<p>「北海道インフラゼロカーボン試行工事」の取組に内容について、以下のとおり確認しました。 （提案内容の全て評価できる場合） 「計画書」の提案内容を確認しました。実施が確認された場合、工事施行成績評定で評価します。 （提案内容の一部に評価できないものがあつた場合） 「計画書」の提案項目を確認しました。 ・1、3件目は、実施が確認された場合、工事施行成績評定で評価します。 ・2件目は、実施しても、工事施行成績評定で評価しません。 （工事現場の削減ではない。） （提案内容の全部が評価できないものであつた場合） 「計画書」の提案項目を確認しましたが、3件とも、実施しても、工事施行成績評定で評価しません。（1、2件目：～～～ではない。3件目：～～～ではない。） なお、提案内容を変更して再提出は可能です。</p>			
合意事項 (受注者現場代理人)	<p>上記について了解しました。 （評価対象とならない取組については、再提出します。）等</p>			
協議簿最終取り交わし日	令和	年	月	日
協議簿通し番号				

記入例③

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書

工事名		/																																				
項目	工事特性・創意工夫・社会性等 (いずか1) 評価内容																																					
提案内容	「北海道インフラゼロカーボン試行工事」の取組																																					
(説明)																																						
1 燃費基準達成型のバックホウを使用し、従来型に比べて燃料消費量を削減する。それに伴って、現場から排出されるCO2を削減する。																																						
(添付図・写真等)																																						
																																						
<p>国土交通省 燃費基準達成建設機械 認定一覧より</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>認定番号</th> <th>建設機械の名称</th> <th>型式</th> <th>呼称 (カタログ名)</th> <th>質量(t)</th> <th>定格出力 (kW)</th> <th>定格回転数 (min-1)</th> <th>氏名又は名称</th> <th>燃料消費量評価 値</th> <th>燃費基準値</th> <th>燃費基準 達成度</th> <th>排出ガス基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E-001</td> <td>バックホウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>g/t</td> <td>g/t</td> <td>☆☆☆</td> <td>平成29年排出ガス規制</td> </tr> <tr> <td>E-002</td> <td>油圧ショベル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>kg/稼働時間</td> <td>kg/稼働時間</td> <td>☆☆☆</td> <td>平成2014年基準</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">燃費基準達成度</p>			認定番号	建設機械の名称	型式	呼称 (カタログ名)	質量(t)	定格出力 (kW)	定格回転数 (min-1)	氏名又は名称	燃料消費量評価 値	燃費基準値	燃費基準 達成度	排出ガス基準	E-001	バックホウ							g/t	g/t	☆☆☆	平成29年排出ガス規制	E-002	油圧ショベル							kg/稼働時間	kg/稼働時間	☆☆☆	平成2014年基準
認定番号	建設機械の名称	型式	呼称 (カタログ名)	質量(t)	定格出力 (kW)	定格回転数 (min-1)	氏名又は名称	燃料消費量評価 値	燃費基準値	燃費基準 達成度	排出ガス基準																											
E-001	バックホウ							g/t	g/t	☆☆☆	平成29年排出ガス規制																											
E-002	油圧ショベル							kg/稼働時間	kg/稼働時間	☆☆☆	平成2014年基準																											
<p>※1 説明資料は、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別業とする。</p> <p>※2 工事特性については、都市部等や厳しい自然条件への対応状況がわかる資料を添付すること。また、創意工夫及び社会性等については、その目的や効果がわかる資料を添付すること。</p>																																						

記入例④

工事番号

様式-4C③ 工事成績採点の考查項目別運用表

(土木・主任又は総括監督員用)

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

評価項目	細別	社会性等に関する事項
6. 社会性等	地域への貢献等	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold; border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">7</p> <p>□1. 「ゼロカーボン北海道」に関して意欲的に取り組んだ。</p> <p>□2. 周辺環境への配慮や環境保全（「ゼロカーボン北海道」の取組を除く）に関して積極的に取り組んだ。</p> <p>□3. 地域の資材の活用に関して積極的に取り組んだ。</p> <p>□4. 地域との積極的なコミュニケーションを図った。</p> <p>□5. 災害時等において、地域への支援又は救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>□6. その他（ ）</p>
	評点	<p>・特に評価すべき社会性等に関する事例を加点評価する。</p> <p>・加点は+4点~0点の範囲とする。</p> <p>1項目1点を目安とする。</p>
	<p>※1 当該工事の施工に携わっている者や当該工事で使用している作業機械で行ったものを対象とする。</p> <p>※2 金品や物品の寄付行為は対象としない。ただし、災害時での物品の提供は対象とする。</p> <p>※3 上記の考查項目の他に評価に値する事例があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。</p> <p>※4 詳細評価は、他の工事監督員の意見を聴取し、評価する。評価の際には、評価した理由を整理しておくこと。</p> <p>※5 評価は請負業者より報告、もしくは提案があったものを検討する。</p> <p>※6 社会性等は、工期内に工事箇所及び工事施工に関係する範囲で地域への貢献等を行った場合に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場製作のみの工事の場合は、工場周辺の範囲を対象とする。 ・現場が複数ある場合は、各々の箇所での取組を評価する。 ・複数の工事で合同して行った取組は、各々の工事で評価する。 <p>※7 現場環境改善費を用いた取組は評価しない。</p>	